

## 令和7年度 第2回防府市部活動改革推進協議会 議事録概要

令和8年2月20日(金)10:00~11:30

於:市役市文化センター(市役所本館 8 階)

### 1 開会行事

#### 教育長あいさつ

市では、学校、家庭、地域と連携しながら、平日・休日を通じた一貫指導の考え方のもと、地域全体で子どもたちのスポーツ・文化芸術活動を支える体制づくりを進めてまいりました。その結果、令和8年3月末をもって、学校部活動は地域クラブへ完全移行します。こうした取組を支える施策の一つとして、本年5月には、地域クラブへ参加する子どもたちのための、無料送迎バスの運行を開始します。今後の運営や連携の在り方についてより良い形となるよう進めてまいりたいと考えております。

### 2 議事

#### (1) 県所管説明 山口県観光スポーツ文化部 スポーツ推進課

○改革実行期間が令和8年度から始まります。10年度までを前期、13年度までを後期とし、中間評価を行って、その後、その成果をもとに後期の予定を進めていくこととなります。○国では、この6年間で休日の地域展開の実現ということが当面の目標となります。○国の新たなガイドラインで、地域クラブ活動のあり方及び認定制度が加わります。○県の指導者登録制度によるサポートや、指導者研修を行うことで、質の高い指導者の育成に努めます。

#### (2) 防府市地域クラブの進捗状況について

○令和8年度からスタートする新たな地域クラブが5クラブある。潮アスレティッククラブ(陸上競技)、Liberty Raiders 右田(男子バスケットボール)、F.C.Tiempo(フットサル)、PIONERO(タグラグビー)、H.D.C(ドッジボール)

○スポーツでは、16種目26クラブが立ち上がりました。文化クラブ6種目15クラブが立ち上がり、合わせて22種目41クラブとなります。

○令和8年度から送迎バスの運行を開始します。富海中、小野中、大道中を始発とし、近隣の中学校を經由して、陸上競技場まで送迎するように計画しています。防府モデルの支援として、前年度に引き続き移動支援、スタートアップ支援、指導者格取得支援を行う。

○国の制度を活用した新たな支援として、地域クラブ活動費の支援、および経済的困窮世帯への参加費等の支援を行う。

#### (3) 令和8年度の新体制について

○部活動の教育的意義を継承・発展させ、行政、学校、家庭、地域が連携して持続可能な地域クラブ活動を充実させることを目的として新たな協議会を設置します。

○地域クラブの代表者(スポーツ2名程度、文化2名程度)に協議会に加わってもらうこととした。

### 3 意見交換・質疑・情報交換（委員）

○県の方で、他市町において良いケースがあればご教示をいただきたい。

→ 完全移行ができてきているのは長門市と防府市のみ。山口県がかなり進んでいるという状況。先進的に進めたからこそ起きてくる課題を検証し、随時、国ともやりとりしながら、サポートできればと思います。

○ バスの運行について、より良い運行の考えがあれば意見が欲しい。

→ 高齢者等を病院へ送迎する運行方法などを参考に見れば良いのではないかな。

→ 校内で生徒がバスの乗降をすることになるが、出入口が狭いことや、側溝の蓋が外れやすいことなど安全面で気を付けてほしい。

○ 大道から陸上競技場までの時間を想定しバスの運行を考えているのか、移動のために活動を諦めなければならない生徒が出てくるのではないかな。

→ 周辺部の学校が、活動を諦めなくて良いようにバスの運行を考えている。

○ 小学校の吹奏楽部は今後、地域クラブになるのかな。

→ 国は中学校の地域展開を進めている、現状では小学校部活動の地域展開はない。

○ 地域クラブの指導者の人数、そのうち教職員の人数は。

→ 防府市の指導者数は178名。そのうち教職員は40名です。

○ 地域クラブで指導する教職員のサービスと手続きについて教えていただきたい。

→ 教職員は兼職兼業の手続きを各学校で行い、市教委に提出する流れになっている。勤務時間内のサービスについては、職専免扱いとなる。

○ 地域クラブに参加している生徒の割合は。

→ 陸上競技の生徒が加入して、約6割の生徒が入会している。

○ 地域クラブでは、専門の指導者が指導に当たることがメリットの一つで、その質を担保していくことが重要となる。ただ、生徒指導の部分は教員だからできた部分でもあるので、そうしたところを研修で補って欲しい。

○文化部には、自分の通う学校にあるから、そこで活動する生徒が多い傾向がある。地域クラブに入っていない生徒のために、運動したり、学んだり、ボランティアを行ったり、こどもの居場所づくりを進めていきたい。

○クラブに入りたくても入れない生徒のために、県東部では生徒の受け皿の一つとして、アフタースクールプロジェクトをやっている。例えば、地域のお祭りに、企画段階から振り返りまでを行うことで中学生が大活躍している。

たくさんの受け入れがある中で、今度は学校が、そういうこどもたちを受入れ、こどもたちの自己肯定感とか自己有用感を育ててあげることができればいいと思う。

○地域のこどもは地域で育てるといっているのであれば、指導者の窓口を小学校の先生方や市役所の職員の方、地域の人達にも広めて欲しい。当然指導には、お金がかかるから財政の部分も支援できる仕組みをつくってほしい。

○令和8年度からすべての部活動が地域クラブになる。より良い地域クラブにするために、各部署で何ができるかを考え、テーブルの上に全部出して話し合う、そんな会議にしてほしい。

○すべてのこども達を対象とした、スポーツや文化に関わる基金のようなものを、設置して欲しいと思う。

○それぞれの種目と競技の特性に合わせて、補助することを検討いただきたい。

○地域クラブで訴訟などのトラブルが起こった際に、市ではどこまで対応してくれるのか。  
→ 指導者の方には、保険の範囲内での対応という形になる。今後の課題として他市の状況等も参考にしながら研究していきたい。

○生徒や保護者の問題や意見など、吸い上げるアンケート等を定期的にやっていただきたい。

○ 地域クラブにない種目も一生懸命育成をおこなっているのを目を向けて欲しい。